

1 3. 愛が深まる心の習慣

「愛されて強運になる」魔法の法則

「もっとかまってほしい」という愛情の渴望が、女性がロやかましくなる最大の原因です。

ロやかましさは決してよいことではありません。マーフィー博士がロやかましい女性について、その最大の理由を指摘したのが下の言葉なのです。

「つきあい始めた頃は、あんなにやさしく思いやりがあり、また自分の言うことをよく聞いてくれた彼女が、なぜあのように文句ばかり並べたてるイヤな女になつてしまったのだろうか」と、男性は言うかも知れません。

それは女性への男性の関心のなさや、放ったらかし、馴れによる無視が原因です。彼女の立場から見たら、彼の変化は露骨そのものです。電話やメールの回数がだんだん減る。会話の時間が少なくなる。こういった変化に女性は不満を抱くのです。

このような女性の不満を男性が知らないわけではありません。知ってはいるが、馴れと安心感から、とかく「釣り上げた魚」には餌をやらなくなるのです。

では愛情が失せたのかと言えば、決してそうではありません。つきあい始めた頃や新婚当時の激しさはなくなっても、落ち着いた愛情が生まれていることもあります。ただ、それが表面に現れないので、女性のほうはいらだちを覚えるのです。

こうしてお互いの心理的距離が少しずつ広がっていく。これは仕方のないことでしょうか。そんなことはありません。ただ、そのような事態にならないためには、愛というものの本質をしっかりとつかんでおくことが大切です。

愛とはそれほど簡単なことではないのです。誰でも好きな人に巡り合えば、何の努力も訓練もいらずに、「人を愛することができる」と思っています。ですが、愛することはそうやさしいことではありません。心理学者のエーリッヒ・フロムはこう言っています。

「全力をあげて努力しない限り、人を愛そうとしても必ず失敗する」何か技術を身につけるときの、懸命に訓練し、またその技術を維持するためには、不断の努力が必要になります。愛も同じで、不断の努力なしには、それを維持継続することは困難なのです。

男は仕事に傾ける情熱と同じくらいの情熱をもって、彼女を愛していることを具体的に示してやる必要があります。そのくらいの努力をパートナーに振り向けないと、女性は愛に飢え、その結果いらだち、ロやかましくなってしまうのです。

マーフィー 運がよくなる魔法の練習帳 マーフィー理論研究会 編著